

Blackboard@Tamagawa 活用事例

01 文学部比較文化学科准教授：實川 真理子先生

毎日の英語学習に活用

實川先生は、コミュニケーション理論・マスメディア論・文化人類学を学んだ後、国際協力機関で社会開発の実務に携わった経験から比較文化学科では国際協力・文化交流領域を担当されています。1980年代後半からのグラフィックインターフェイスとインターネットの草創期に、シリコン・バレーで大学院生として刺激を受け、国際協力の現場を含め、人間生活を豊かにするためのICTの活用法に取り組んでいます。本学では2005年以降全ての担当科目でBlackboard@Tamagawa（以下Bb）を活用、教員だけでなく、学生達もBbを主体的な運用ができるよう側面援助や指導を行うなど、教育現場でのICTの可能性を多様な観点から試しています。



科目の実施規模と講義でのBbの活用

◆科目名：メディア・イングリッシュ

（5号館コンピュータ演習室の定員（46名））

◆授業概要：教科書ではなく、ネットで英語Newsサイトにアクセスし、異なる国々の多様な視点のNewsを視聴するスキルと習慣を身につける。特に、Newsの背景を理解することで、英語の聞き取りを促進、持続的な視聴習慣を形成を目標としている。

基本構成

コースメニューで「アナウンス」「情報」「Audio Visual 教材」「毎日練習」「講義」「マイ成績表」「掲示板」を設けている。

「アナウンス」は、その日掲載のニュース内容と英語学習のポイントを紹介するほか、例にあるように、台風接近による全学休講への対応を即座に告知など、授業の運用にも活用している。この時は、学生が自宅にいながら通常の授業時間にBb上で授業を実施することができた。

「情報」には、英語で発信されているニュース（日英米豪だけでなく、アジア・中東・アフリカのテレビ局）サイトのURLを掲載し、クリックするだけで世界中のNewsを視聴できる。その他、インターネットベースで無料で提供されている英語教材サイトなどを紹介している。



図1. 基本構成画面

「Audio Visual 教材」と「毎日練習」

この授業では予習・授業・復習という枠組みではなく、毎日Newsを聞いて、授業時に1週間のまとめとNews内容の理解にあてるとい

構成をとっているため、News を毎日視聴するのが面倒でなく、かつ、listening と語彙・文法の確認できるデザイン作りに苦心している。

每学期修正を入れ、直近では次のようにした。

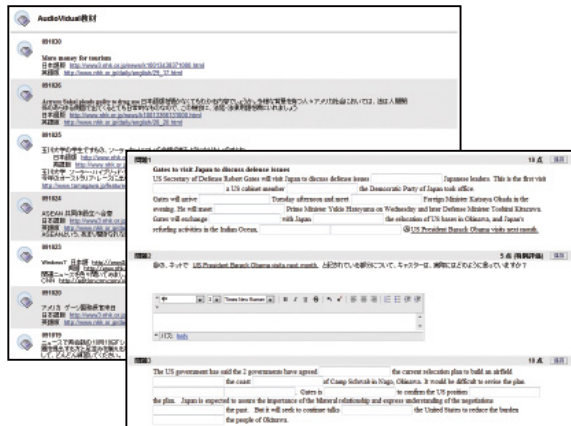


図 2. Audio Visual 教材

学生は、「Audio Visual 教材」に掲載される URL からニュース等の指定動画を視聴し、「毎日練習」に掲載される動画用の課題に回答して平常点を得る。ニュースサイトでは、掲載記事の更新が頻繁なので、課題に取り組む前に指定ニュースが削除されることもあり、ニュースを毎日フォローするという習慣をつけなければ、即、平常点に反映されてしまう仕組みとなっている。学期全体の累積点が平常点となる。

項目名	Details	期日	最終送信日、変更日、または採点日	成績	満点
100109	[詳細]		2010/01/09 19:32	20	20
100111	[詳細]		2010/01/11 13:04	17	20
100114	[詳細]		2010/01/14 14:06	20	20
100115	[詳細]		2010/01/15 13:57	13	20
100116	[詳細]		2010/01/16 19:18	19	20
100117	[詳細]		2010/01/17 22:26	20	20
LastClip	[詳細]		2010/01/18 18:42	10	10
100121	[詳細]		2010/01/21 21:08	60	60

図 3. 学生権限アカウントから見た成績表

「講義」とヒューマンタッチ

この授業をコンピュータベースの市販 e-learning と差別化する要は、学生の習熟度と興味にファインチューニングしながら、授業内容を機敏に展開することだと考える。例えば United States of America という国名が示す国の成り立ちを知らなければ、連邦政府・州政府・個人の関係がわからない。right や interest といった社会の基本となる多義語の文脈と用法を学び憲法を考える視点を通して、News の理解促進を図る。「今」の News と歴史と個々の学

生の関連付けを図りながら、聞取りから学生が News について考えたことを、自分のことばにする機会として授業を構成する。

授業開始時に Bb にログオン、「講義」に掲載の 1 週間分の「毎日練習」の総復習から授業に入る。教員は、Wingnet システムで学生の Bb 上の動きをモニターし、課題により回答をクラス全体で共有するなど、Bb を授業内でも有効なツールとして活用している。解答提出後、「試行の統計」で学生の得手・不得手を確認し優先順位を付けて語彙・文法・内容を説明する。

本解答回答
2
<p>The meaning of 'miscegenation' is that a someone marries a person who has a different color.</p> <p>'miscegenation' mean is using bloods mix.</p> <p>Obama's father is a black, but his mother is a white in 1960, then color seggation was there in many parts of the South. If a black man loahed a white, the man was killed.</p> <p>To marry a black man and a white woman. This time, it did't be let they marry in over half the state in the Union.</p> <p>In 1960, miscegenation still described felony to many between White and Black in over half the states in the Union. So, mixed society was impossible.</p> <p>[1960s "miscegenation"] is a problem between in the black and white. In this case, Obama's father is a black (African) and his mother is white. In 1960, US has strong press in the skin color. Black people were forced to live unhar situation.</p> <p>This is the famous of problem of humanism in the USA.</p> <p>'Miscegenation' describes the mixed marriage. It was often used for discrimination.</p> <p>Miscegenation is a opinion that people separate to race. And opinion especially separates to White and Black.</p> <p>this age was rare in other leader married.</p> <p>In that date(1960), there are strong seggation in US. Then Mr. Obama emphasize that to say about parents story. It was really hard even his father expressed his love for his mother at that time.</p> <p>Miscegenation mean many people who stay a lot of race area.</p> <p>To get married Blacks and Whites.</p> <p>The miscegenation is 差別 of people. When his parents were married, states have miscegenation.</p> <p>The word "miscegenation" mean that people who have skin color, couldn't be accepted their identities and looked felony by the world in those days.</p>

図 4. 試行の統計 (短答式の集約)

また、短答式の回答を集約し演習室のモニターに表示して全員で Best Answer を選ぶ。正解を与えられるよりも、不完全でもクラスメートの回答の方がより強い関心があり協調学習の効果を活かす。集約を教卓 PC 上で Word 文書に変換し変更履歴を ON にして、学生からの修正提案で添削していく。この過程で、学生達は語彙・文法と同時に発音やイントネーション、そして News に口頭でコメントをつけること自体を学ぶ。Bb を活用しての訓練後、実際にこうしたスキルを使う場面を想定した授業を行う。直近は、アメリカの学寮の朝食を模してコーヒーとパンを食しながら「オバマ大統領のノーベル平和賞」について話し合った。学期末評価が 1 番高かった授業だったが、理由が内容なのか朝食なのか、それは分からない。今後に向けて

e-learning と対面式授業をどのように組み合わせるのが最適か、携帯電話の進化をどのように組み入れるかを考えている。携帯端末による情報確認など視聴習慣の形成には効果大だと考えており、メディア教育推進室のご助言をいただきながら方策を考えていきたい。

ラーニングコミュニティサイト Blackboard 事例紹介について

◆ Blackboard@Tamagawa 導入事例

Blackboard 国内代理店である株式会社 C S K システムズ西日本によるコミュニティサイトに本学の導入事例と事例紹介が掲載されました。導入事例では、1997 年、米国の e-Learning 先進大学の視察から始まり、学習支援システム Blackboard を導入するまでの選定理由や導入の目的、10 年計画を段階的に経て現在にいたるまでの導入の効果、今後の展望などが紹介されています。また、インタビュー動画（e エデュケーションセンター副センター長 橋本順一）では、現在の取り組みや具体的な活用方法、これからの課題などが閲覧できます。どうぞご覧ください。

URL : <http://csklc.jp/case/tamagawa.html>



図 5. CSK ラーニングコミュニティと導入事例

同じくコミュニティサイトのケーススタディ（事例紹介）においては、リベラルアーツ学部のバリー・マティア先生、中田幸司先生による Bb の授業利用の内容、実際に活用しての印象、学生の反応や Bb の便利な機能等についてのインタビューも閲覧できます。

◆ Blackboard 事例紹介「Blackboard でより深く、より広がる授業へ」中田幸司先生

国語科教職授業では、予習教材や模擬授業動画の閲覧等を掲載。また、学生同士のグループディスカッションや教員からのアドバイスを BBS（掲示板）で行い、聞くだけではなく、学生たちにも考えさせる授業を行っている事例が掲載されています。

URL : <http://csklc.jp/case/tamagawa2.html>

◆ Blackboard 事例紹介「効率的なコミュニケーションを支える Blackboard」バリー・マティア先生

1 年生必修のため大人数クラスとなる英語授業では、小テストの実施、連絡をスムーズに行うためのアナウンスや e メール送信の活用、4 年生ゼミクラスでは BBS を利用した意見交換によるコミュニケーションスキルを学ぶ授業の事例が掲載されています。

URL : <http://csklc.jp/case/tamagawa3.html>

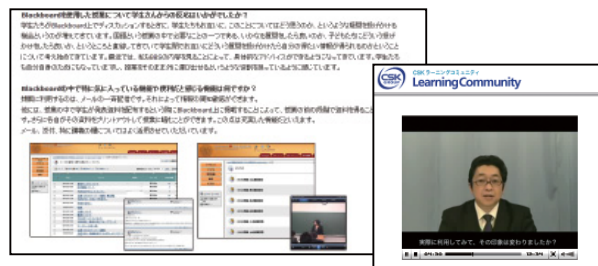


図 6. 中田先生 事例紹介



図 7. マティア先生 事例紹介

Blackboard@Tamagawa

2009年度 授業のコース統計

2009年度 Blackboard@Tamagawa の活用率とコース統計結果をご報告します。2009年度春学期、秋学期を通しての Bb コース活用率は 47.5%、専任教員の活用率は 70.8%、学生の活用率は 98.6% となりました。

2009年度で活用率が高かったのは経営学部、リベラルアーツ学部、文学部です。また、農学部は 2008年度と比較して活用率が 10%以上増加しました。

春、秋学期合わせて 2,000 以上の授業のコースが作成され、専任教員と非常勤教員を合わせた活用率は 52.6% となりました。

Blackboard@Tamagawa 活用推移 (大学全体)

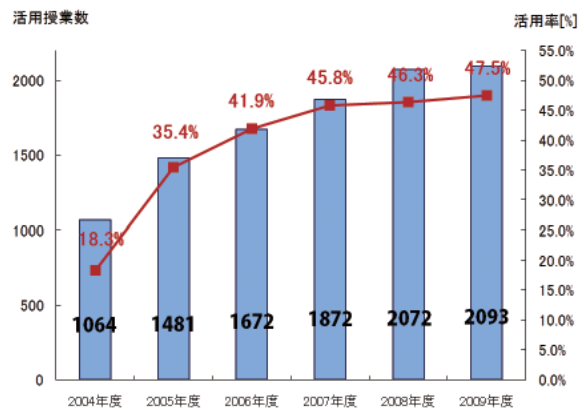


図 8. 授業における Blackboard @ Tamagawa 活用状況

①授業数：正式に登録され、開講された授業コード数

②活用数：①の授業のうち、Bb を活用した授業コード数

③活用率：授業のうち、Bb を活用している割合 (= ② ÷ ① × 100)

表 .Blackboard@Tamagawa 活用推移 (年度単位)

学部	2004		2005		2006		2007		2008		2009	
	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率
文学部	224	24.1%	381	42.6%	423	51.5%	434	57.5%	427	61.8%	319	64.2%
農学部	20	5.0%	75	19.0%	138	30.4%	143	40.3%	135	38.3%	155	48.3%
工学部	48	8.4%	155	27.7%	258	41.0%	255	46.9%	191	39.9%	207	39.8%
経営学部	481	93.0%	449	99.6%	425	97.6%	299	69.9%	378	72.6%	377	77.3%
教育学部	59	11.1%	93	17.7%	111	21.0%	160	32.5%	169	30.2%	195	30.6%
芸術学部	35	3.4%	79	18.1%	102	24.1%	157	27.9%	153	29.9%	174	34.7%
リベラルアーツ学部							87	79.8%	156	74.9%	222	71.6%
コア	40	11.0%	91	25.6%	130	33.0%	187	49.3%	185	48.7%	170	45.5%
教職関連科目	0	0.0%	7	20.0%	11	22.4%	14	35.1%	14	40.0%	13	31.7%
総計	907	18.3%	1330	35.4%	1598	41.9%	1736	45.8%	1808	46.3%	1832	47.5%

(注) ①コース数：教室での対面授業を 1 コースとして、授業コード区分別 (各学部、コア / 教職共通科目) に集計。

②受講者のべ数、教員実数：利用者を所属学部別に集計。

③活用率 (%)：各学部開講授業コードを元に集計。(図. 注釈参照)

④コース数と活用率の違い：コース数は、Bb 利用対面授業数を把握する目的で集計。

活用率は、全授業中の活用の割合を把握するため、授業コードを元に集計。

編集後記

今回は、文学部比較文化学科の「メディア・イングリッシュ」で、ニュースサイトの紹介や、英語課題を毎日行い、授業内で総復習をする等の Bb 活用報告をして頂きました。学生対象の学期末アンケートでも、毎回、学生評価・期待の高い科目です。

Bb のテスト機能や学生へのフィードバックについて興味がありましたら、お問い合わせください。

春学期も Blackboard@tamagawa をぜひ活用ください。

e-Education NewsLetter 2010 Vol.1

2010年4月発行

玉川大学

e エデュケーションセンター メディア教育推進室

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : bbhelp@tamagawa.ac.jp